

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
 予約購読料 1年分 5,000円
 紙代のみ 3,500円
 振替 00140 9 145275

本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
 FAX 03(3207)3918

発行人 内藤 留 幸
 編集主筆 竹 澤 知 代 志
 印刷所 株式会社きかんし

教団創立記念日礼拝・表彰式

日本伝道150周年記念 キリストこそ我が救い



日本基督教団創立の地、富士見町教会を会場に

すべての民をわたしの弟子にしなさい

2009年6月24日(水)午後1時半～4時、富士見町教会において日本伝道150周年記念、第68回日本基督教団創立記念日礼拝が行われ、全国13の教会から、約320名の教師信徒が出席した。

教団創立記念日礼拝

礼拝は、司会・高橋豊(白鷺)、奏楽千葉仁(富士見町)、説教・山北宣久(教団総会議長、教団信仰告白、聖餐式、献金感謝祈禱、樋田利明(富士見町)の次第により進められ、続いて、伝道牧会50年以上の現職の先生方の業に感謝して、表彰式が行われた。

「すべての民をわたしの弟子に」と題して、山北議長はプロテスタント日本伝道の基点から宣教の歴史を辿った。

「日本開国前1853年7月10日(日)ペリー艦隊サスケハナ艦上での礼拝、そこで捧げられた讃美歌は、今ともし捧げた4番

交読文は100篇であった。艦上ではあるが日本最初のプロテスタントの礼拝である。」

ここから始まる歴史を完全数の7に因んで、「150年セブン」として総括した。150年セブン

163年前の琉球において、多くの難問を貫き、医療、琉球語聖書翻訳に尽くしたベッテルハイムの伝道を覚えなければならぬ。

1859年、プロテスタントの宣教師6名が長崎、神奈川に渡来。禁教・迫害の中、1871年までの12年間で20名の受洗者が与えられた。神の言葉に触れるための日本語への聖書翻訳。伝道にはインスタントな手立てはない。

宣教師たちは教派を持ち込んだのではなく、イエス・キリストを持ち込んだ。垂直軸で言えば、今も昔もこれからの、水平軸で言えば、いつでも、どこでも、誰にでも、垂直軸と水平軸を十字架上で描きながら開かれた教会を形成していった。

1872年、宣教師たちの初週祈禱会。涙ながらに祈るその祈りを私たちに教えてくださいと日本人が申し出た。最初の弟子たちが、イエスに私たちに祈る

ことを教えてくださいと言った姿に重なる。日本伝道は熱き祈りによって前進した。

公会初期の受洗者は青年が多く、15歳の植村正久をはじめ熱き志を抱いた青年を中心に展開された。

日本伝道の曙は、熊本パンドのジェーンズ、札幌パンドのクラークなど、信徒たちが担った。

日本伝道は女性の手で繰り広げられた。後に、女性の人権確立、地位向上、教育振興など、現代日本に大きな影響を及ぼしている。

宣教師・人格的福音

伝道牧会50年以上表彰式

続いて行われた表彰式は、司会・小出望宣教委員長により進められた。

「伝道牧会50年以上の現職の先生方の業に感謝して」行われ、牧会66年の草村美教師(高円寺)をはじめ61名の方々が表彰された。うち出席は26名。

山北議長は、神学校時代に聴いた言葉を披露した。「聖徳太子は3つの宝を持つていたが、牧師には4つの宝がある。びんぼう、しんぼう、きぼう、そして、よぼう。先達に感謝すると共にあつた、家族

日本人の救いのために、はるばる命がけで渡来した外国人が涙して祈り、御言葉を伝えたいとする不撓不屈の思いが、日本人の心をとらえた。

宣教師たちの人格の中に受肉した人格的福音、それが福音伝道の実を結ぶことになる。イエスの御姿を彷彿とさせるものが宣教師たちに宿っていた。御言葉は福音的な人格を通してなされるということを思うとき、私たちは、あるべき姿を整えさせられる。



半世紀を越える伝道、その万感の思いを込め

「すべての民をわたしの弟子にしなさい」なお弱き私たちに近づいて、その命じてくださる主によって心を合わせる時に、様々な不安や恐れを超えて、私たちはここから散らされていく。

私たちは多くの困難があることを覚えている。しかしその時こそ、復活の主が共にいてくださる、そのことを実感させられる時ととも

主は地上にて、教え、癒誘った。一人ひとりに手渡された記念の品は、表彰状と文語訳聖書、讃美歌280番わが身のぞみはを賛美し、共に感謝と祝福の拍手が続いた。

「かつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「汝の大庭にすまう一日は千日にもまさり、我は悪の幕屋におらんよりは、むしろわが神の家の門守とならんことをねがうなり...詩84篇。この面の記事にあるように、教団創立記念日礼拝に於いて、50年以上伝道・牧会しなお現役にある方々が表彰された。49年の方はとか、いろいろと議論はあるだろうが、素直に方々のお働きに感謝し、そして羨望しても良いと思う。人に言えないような苦勞もあつたらう。しかし、素晴らしい。神さまの家で50年を過ごすことが出来たのだから。今後、総会毎に表彰したらと、提言したい。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。



半世紀以上を主のご用に仕えた伝道者たち

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

「かかつて私は何度母といつしよにすることを拒んだことが。忙しいから。疲れから。気が乗らないから。教会?いいよ、遠慮なく。夕食?ごめん、無理だ。な。会いに来いって?だめだ。来週なら行かれるかも。しれないけど。君も母さんと過ごせるはずだった時間を計算してごらん。それだけでも一生かかるから...ミッチ・アルボム。もう一日、NHK出版。母を神に置き換えて読んでいた。

教区創立10周年記念感謝礼拝

西 東 京 区 教 区

日本基督教団西東京教区
創立10周年記念感謝礼拝
が、6月28日(日)、阿佐
ヶ谷教会を会場に開催され
た。説教は山北宣久教団総
会議長、当日の聖書日課に
あたるコリントの信徒への
手紙一(8章1-9節)から次
のように語った。



この日のために教区内諸教会から集められた聖歌隊

第31回教団総会では21世紀の伝道に全力を注ぐことが決議された。西東京が17番目の教区として創立したのはこの総会である。2つのことは対であるように思われた。西東京は伝道する教区として出発した。10周年を迎え、立川夕礼拝が標榜するように、「更に西」と伝道が進展することを願っている。

「十年一剣を磨く」という漢詩がある。10年かけて神の言葉を磨き、社会へと切り込み、伝道している教区

の働きに感謝してやまないと。ジョン・ウエスレーは、財布を悔い改めさせなければならぬ」と言った。9節には実践の力が述べられている。主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。このことに感謝して、垂直の力を水平の力に展開しなければならぬ。ベッテルハイムの伝道163年を覚えつつ、日本伝道150年を記念するこの年に、西東京教区を先頭にして、愛の業が広がって行くことを望む。

150年前、宣教師はじめ日本宣教に携わった人々

は、教派ではなく、聖なる公同の教会を形成しようとした。「信仰は一つ、証しは多様」という言葉の中

が誕生した経緯、その理念について詳細に、深い思い入れを込めて語った。

今総会で4代目の議長に選出された阿佐ヶ谷教会大村栄牧師は、教区との関わり、自分の牧会の歩みを振り返りつつ、教区の新しい時代への抱負を語った。

(新報編集部報)

決算を人念に審議

出版局を含む

予算 決算

第36総会期第2回予算決算委員会が、6月8日(月)午後及び9日(火)午前の両日にわたって、教団会議室で開催された。

に常任予算決算委員会記録及び報告を承認受領した。愛澤豊重総務幹事より出版局の借入が教団責任役員会で承認されたとの報告を受けた。また、計良祐時財務幹事より、大阪教区総会において未納となっている自立連帯資金の支払いが決定された。

世界宣教委員会下の関連委員会

世界 宣教

5月・6月に開かれた世界宣教委員会下の関連委員会について報告する。

5月13日、スイス協約委員会と韓国協約委員会との第1回合同委員会を開催。スイス・韓国との三國間協議会(2010年11月)開催について協議した。

10月の「世界宣教の日」献金の一部は、この原資に充てられている。加えて、英国メソジスト教会のスカラシップを教団新報にて公募することとした。

また、昨年9月よりドイツのEMSボランティア

「両教会の宣教課題と宣教協力」をテーマに

第 43 回 日本基督教団と在日大韓基督教教会との宣教協力委員会



6月8日(9日、石和にて、テーマ「両教会の宣教課題と宣教協力」第2回宣教協議会合意文書を踏まえて「のもとに開催された。出席は、在日大韓基督教

会側は鄭然元(総会長)、金漢範(副総会長)、金柄鎬(総会書記)、朴珍烈(宣教委員長)、金健(社会委員長)、朴太元(教育委員長)、朴寿吉(総幹事)、教団側は山北宣久議長、佐々木美知夫副議長、鈴木伸治書記、小橋孝一(在日韓国朝鮮人連帯特設委員長、小出望宣委員長、長内藤留幸総幹事、今泉幹夫幹事、開会礼拝は鄭然元総会長が、主にあつてひとつ」と

を建設する。場所は、新宿区西早稲田、地上5階建て、建築予算は2億7千万円である。この募金について日本基督教団は協力する。

歴史共同研究委員会の設置を決める。研究会名「UCCJ・KCCJ歴史共同研究委員会」、目的「第2回宣教協議会での合意に基づき、KCCJとUCCJの交流の歴史研究のための資料を共同で収集し、研究する。

英国メソジスト教会
研究・研修奨学生公募
(2010年9月期)

- ◎資格…日本基督教団に籍のある信徒・教職
- ◎募集奨学生…若干名(全世界より応募あり)
- ◎応募期限…9月1日
- ◎問い合わせ先…教団事務局内、国際関係委員会 (Tel. 03 - 3202 - 0544)

引当預金に積立てることを目的に編成することを決定した。また、2008年度決算は決算書概要の字句を一部修正の上、承認された。教団出版局2008年度決算に関して、教団出版局・有澤禧年局長、同・百瀬一成経理課長が出席、有澤局長より事業報告、百瀬経理課長より退職金制度と決算の補足説明がなされた後、主に事業内容や退職金、借入金等について協議が行なわれた。

教団部落解放センター2008年度決算を承認し、08年度決算を承認し、休会に入った。

二日目は先ず、前日の協議を踏まえて作成した2008年度経常会計第二次補正予算案を承認した後、2010年度教区負担金に関して負担金賦課額、計算方

式などについて協議、続いて教職者家族奨学貸出金・貸出資金についての協議を行なった。

9月開催予定の全国財務委員長会議について計良幹事より内容、記録等の担当について常任予算決算委員会決定すべきとの提案があり、協議の上、承認した。

その後、有澤出版局長、百瀬経理課長が出席し、同日朝の臨時課長会において来たる常議員会に対して行う、今後の資金計画等についての報告内容が決定したとの報告があり、協議を行なった。

年金局決算報告および教団2009年度実行予算の承認を経て、次回委員会を9月14日、15日に開催することを決定し、閉会した。(外崎孝報)

教区独特の手続きを経て准允式

神奈川

第122回神奈川教区総会が6月27日、清水ヶ丘教会で開催された。正議員222名中183名の出席で成立した。

開会礼拝は逝去教師を憶えつつ献げられ、来賓紹介や組織会等、所定の手続きが進められ、議案第一号、補教師の准允執行に関する



岩崎隆議長司式による准允式、7名が受領

件」が上程された。7名の志願者が、それぞれ所信を述べ質疑を経て採決に入ったが、採決の前、神奈川教区独特の手続きが

あつた。しかし今回は議論も出ず、儀式のように淡々と進められた。ただ、こうした無風状態がかえって問題を風化させていると捉える向きもあり複雑である。

ここで行われることが慣わしである。それは、志願者が受験した教師検定試験が、神奈川教区から見ても不当かを諮るもので、議長は「このたびの教師検定試験が、神奈川教区から見ても不当である」とは言えない、と思う方は拳手を」と求めるのである。この独特な手続きについては、受験拒否者の存在や二種教職制と検定試験に関する神奈川教区からの問題提起の歴史等が背景にあるが、そもそも教団の教師検定試験の当否を教区が問うのはおかしいといった批判や議論が

となつた。今総会では、とくに議論となつた議事はほとんど見られなかつたが、2009年度各種委員の選任に関する件」では、「オリエンテーション委員会」では紅葉坂教会の北村慈郎氏が委員長とされていることについて、信徒議員から疑義が出された。教憲・教規を明らかに守らない者が委員長となるのはおかしいとの理由から、同委員会の選任についてのみ別に採決してほしいとして動議とされ、議論されたが、動議は少数否決となり、原案が賛成多数で

声 明

本日、警視庁は世界基督教統一神霊協会（統一協会）信者が運営する有限会社新世のいわゆる霊感商法の手口による物品販売等の活動について、同社代表取締役田中尚樹をはじめとする統一協会信者らの逮捕及び統一協会渋谷教会など関連施設数か所に強制捜査を行った。

有限会社新世の物品販売等の活動は、教祖文鮮明の毎月いくら、さらにいつまでにいくら送金するという指示を実現するために、全国各地でなされている活動の冰山の一角にすぎない。その手口の計画性、組織性、悪質性及び被害金額が莫大であることは、他の悪質商法に例を見ないものである。今回の強制捜査は、沖縄・長野・新潟・大阪・福岡の各県における強制捜査につづくものであり、長年に亘る統一協会の悪質な資金集めの実態を解明し抑止するうえで高く評価できる。

上記強制捜査を踏まえ、統一協会の経済活動を担う幹部らをはじめ事件責任者らの刑事責任が厳正に追及され、同種被害の抑止に寄与することを期待する。

当連絡会は、被害者らが泣き寝入りすることなく、自らの被害回復に立ち上がるよう、呼びかけたい。それが新たな被害の防止に役立つことを理解してほしい。

2009年6月11日

全国霊感商法対策弁護士連絡会
事務局長・弁護士 山口 広

〒163-8691 東京都新宿区新宿郵便局私書箱 231 号
TEL:03-3358-6179 FAX:03-3358-4679
ホームページ <http://www.mesh.ne.jp/reikan/>

消 息

可決された。この総会は当初より時間的に余裕のあることが予想されていたため、教団50年データ、分析と提言、グラフで見る日本基督教団のDVDが約1時間にわたって上映された。ここで示されたデータを深刻に受け止める人々が多いが、一方で笑いながら見る人たちがいるのも気になった。同じ教会の現実を見ながら、それに對する反応は正反對なのである。ここにも厳しい現実が見える。

(藤盛勇紀報)



佐々木香理氏(武蔵野教会)

担任教師)

4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏(隠退教師)



宮崎 洋氏(隠退教師)

2月25日、逝去、93歳。北海道に生まれる。'41年青山学院神学部を卒業後、篠の井町講義所に赴任、福田村伝道所、屋代、遠州、中遠、遠州栄光の諸教会を経て、'87年から袋井教会を牧会し'91年隠退した。遺族は、息・紀男さん。

西原 明氏(隠退教師)



4月18日、逝去、80歳。

事務局報

補教師登録

兵庫県に生まれる。'55年東京神学大学大学院を卒業後、高砂教会に赴任、品川教会を経て、'66年から島之内教会を牧会し、'98年隠退した。遺族は、妻・由記子さん。

担任教師)

4月29日、逝去、42歳。兵庫県に生まれる。'91年東京神学大学大学院を卒業後、山形本町教会に赴任、06年から武蔵野教会を牧会した。遺族は、夫・潤さん、宮崎 洋氏(隠退教師)

2月25日、逝去、93歳。北海道に生まれる。'41年青山学院神学部を卒業後、篠の井町講義所に赴任、福田村伝道所、屋代、遠州、中遠、遠州栄光の諸教会を経て、'87年から袋井教会を牧会し'91年隠退した。遺族は、息・紀男さん。

西原 明氏(隠退教師)

4月18日、逝去、80歳。

石垣弘毅、佐藤紀子
田村毅朗、中野 円
(2009・4・29受允)
五十嵐悦子、五十嵐高博
大住公平、大澤正芳
大澤みずき、久下倫生
小糸健介、竹田常司
米山恭平、中村奈津子
満仲 弘
(2009・5・4受允)
中川好幸、才藤千津子
大藪朝祥、田栗 宏
筒井信行、山田雅人
(2009・5・5受允)
上原芳子
(2009・5・6受允)
加藤俊英、兼松千佳子
齋藤 開、出口尚弘
廣田宗示、松田光代
矢吹大吾、浦井 徹
(2009・5・18受允)
阿部倫太郎、浦上 充
小椋実央
(2009・5・20受允)
太田 望
(2009・5・26受允)

正教師登録	中井利洋、山内満寿	加藤 恵	梅田憲章、中田美歌	(2009・4・29受按)	水島祥子	(2009・5・4受按)	池谷明高、信岡茂浩	深谷与那人、小西哲郎	(2009・5・5受按)	老田 信新保恵子	(2009・5・6受按)	塚本吉興、西川専一	橋本かおり	(2009・5・18受按)	平井克也	(2009・5・20受按)	佐藤良司	(2009・5・26受按)	教師異動	浅草北部	東調布	柿ノ木坂	下石神井	武蔵野緑	浦谷	八戸小中野	知立	遠州	多良見	天草平安	石和	愛宕町	諏訪					
	就主(田邊良三)	就主(比嘉盛一郎)	就主(磯部紀代子)	就主(磯部紀代子)	就主(東海林昭雄)	就主(佐々木良子)	就主(佐々木良子)	就主(小友 睦)	就主(山田康博)	就主(山田康博)	就主(山田康博)	就主(小林信人)	就主(石井和典)	就主(木下宣世)	就主(小林信人)	就主(今村正夫)	就主(上原秀樹)	就主(豊田通信)	就主(豊田通信)	就主(中村喜信)	就主(中村喜信)	就主(柳田洋夫)	就主(徳田 亮)	就主(徳田 亮)	就主(徳田 亮)	就主(吉沼紀美代)	就主(横井武男)	就主(高橋 潤)	就主(石井和典)	就主(関谷慶太)	就主(柏田政治)	就主(瀬尾弘志)	就主(田邊良三)	就主(田邊良三)	就主(田邊良三)	就主(徳安早人)		
	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田	田 田

訂正・お詫び
「100円献金欄、倉敷142,551は130,551の誤りでした。以上、お詫びして訂正致します。」
日本基督教団年金局「隠退教師を支える運動」
訂正・お詫び
新報4676号、1面、兵庫教区総会記事、写真のキャプションで「マスク着用が義務づけられた」とありますが、マスク着用が義務づけられた事実はありませんでした。文中、「特にセンター職員採用やセンター運営について、今までより詳細な規則が定められる事」とありますが、これらの規則が定められた事実はありませんでした。センターを含め教区の運営や任務について教区規則上、別に定めると規定し、その取り組みが次期総会に向けてなされることとなり、お詫びと共に訂正させていただきます。

献身のとき

NOOSHIN
KENSHIN
TOKI

No.4



10年後に聞かれた祈り

上田光正(美竹教会教師)

「わたしには深い悲しみがあり、わたしの心には絶え間ない痛みがあります」(ローマ9章2節)。

わたしが献身を決意したのは、ほとんど一瞬のことであった。高校時代から、自分が何になるべきかを思い悩んでいた。しかし、幾ら考えても答えは得られず、悶々としていた。教会に行き始めたのは、大学に入った1960年の春。その年のクリスマスに受洗した。

医学部に席を置いたのは、家業を嗣がたかっただけではない。単に、6年間も時間があつた。その間に天職が何であるかが分かるかも知れない、と考えたからである。教養学部を終え、医学部の入学式を終えた日の夜、召命を受けた。

何の迷いもなく、むしろ、自分がこの世に生を受けた理由が明らかとなったことを喜んだ。自分の将来と言つても、人生の転換期になったときに、初めてリアルに示されるものよつである。翌朝東神大に行き、仮入学の許可を得た。

献身で一番傷つけてしまったのは、両親である。今にして思えば、どうして一日でも二日でも心の備えをさせて上げてから神学校へ行けなかつたのかと、配慮の足りな

さが悔やまれる。父は寝込んでしまった。せつなく東大医学部に入った長男が、最低生活者となるのか、と。もっとも、家業の方は妹や弟が3人も医者になったので、嗣がれることにはなつた。

わたしは神学校の寮から一生懸命母に手紙を書き、熱心に両親の救いを祈り続けた。しかし、なかなか聞かれなかつた。ある夜、夢を見た。両親がわたしの前に並んで正座し、首を垂れながら、次第にわたしから遠のき、小さくなつてやがて消えて行く夢である。わたしは夢の中で激しく慟哭し、目を覚ました。汗をかき、心臓の鼓動が痛いほど強くいつまでも鳴り止まなかつたことを、今なお忘れることが出来ない。

話は少し変わるが、わたしが神学校を卒業した頃から、日本の教会の講壇では十字架と復活の福音が余り語られなくなつていった。何が起り始めていた。わたしは自分の神学をしっかり確立させる必要を痛感し、5年半ほどドイツに留学した。その間に、教団では万博問題、東神大問題、教師検定試験問題などが次々と発生し、宣教の理解をめぐつて、教団は時代の嵐に翻弄され続けた。恐ろしいことが起つたのである。

その間、わたしの母は遠くへ去つた息子の面影を求めようと、教会に通つていたよつである。教会に行きさえすれば、息子に会えると思つていたのである。やがて信

仰を与えられ、寝たきりの父を看病しながら伝道し始めた。父も母を通して信仰を与えられ、死の直前に洗礼を受けることになつた。わたしはわざわざドイツから一時帰国し、父に授洗した。父の死をドイツで知つた。その前日の夜、父がかつて見せたことのない、太陽のような笑顔で天に召されて行く夢を見た。わたしの祈りは、10年後に聞かれたのである。

ドイツから帰国し、高知県の安芸教会で6年、石川県の若草教会で5年、そして現在の美竹教会で25年牧会している。

しかし、わたしの心はなお、冒頭の聖句を離れることがなかつた。と言つたのは、教団は今なお荒れ続け、一時は教勢が増えたと見えても、全体的に見れば、やはり衰微の一路を辿っているからである。あの、わたしの前に正座しながら首を垂れて次第に遠のいて行つたわたしの両親が、再び元気でわたしの前に現れ、大きな笑顔で微笑んでくれたように、教団は甦らないものだろうか、と切にこいねがいつつ祈り続けている。



美竹教会礼拝堂

教団教誨師会の設立を目指して

教誨師教区代表者会・研修会報告



6月1日・2日の両日、東京代々木の国立オリンピック記念青少年センターを会場に標記の会が開かれた。教団教誨師協会の主催で、沖縄、北海の2教区(教団教誨師不在)以外の全教区から30名が参集した。日本基督教団教誨師会設立に向けて、を主題として論議を深めた。

開会礼拝に続き、参加者の自己紹介も兼ね、「教区報告」が行われた。地域毎に施設数、教誨師数、教区状況等の格差はあるが、教誨活動が教区や地区の伝道委員会等の中に位置づけられ、支援予算が計上されておき、年毎に支援体制が強化されている状況が報告された。

教団も伝道委員会が、毎年助成金と「宗派負担金」を支弁していることや、「全国教誨師連盟(全連)」創立50周年大会、特別分担金を負つたこと、さらに伝道委員会担当委員と担当幹事が代表者会等に陪席し、物心両面から当協会活動を支援していることが感謝をもつて報告された。

また、個々の教誨師の課題を話し合う時があり、新任の悩みや先輩の体験等が率直に交換され、先年協会の協力により発刊され

た。教誨マニユアル」と共に教誨活動に大いに資する時間であった。

今回のメインテーマ「教団教誨師会設立」については2日間にわたる日程が割かれ、真剣な議論が展開された。発題をとおして、過去の歴史の振り返りと協会の歩みと限界が語られた。

教団刑務所伝道委員会が機構改正で無くなり、自発的に「協力会」が組織された。しかし既に40年以上経過し、時代状況に適合しない部分があること、任意団体であるがゆえに、教誨が教団宣教の働き、意識の希薄や教誨師の個人プレー的理解の者もある。「教団・教区の業」とあることの再確認と教団全教誨師の参加が必要であり、仏教・神道等の他宗教との関係と「全連」でのキリスト教の確保のためにも、教団教誨師会」の意義があるとされた。議論の末、設立が賛同、承認され、拙速を避けるために教区代表による「設立準備委員会」を設け、実現を目指すこととなった。

(土橋晃報)

ひととき

金澤 真実さん

日本盲人伝道協議会の主事として期待される



仙川教会員。好きな聖句は、コ口サイ3・13、讚美歌は270番。

金澤真実さんの歩みは、人を包み込む穏やかな語りからは想像できないほどのパワーあふれるものである。まず高校生のとき、仙川教会で高校生会聖研の学びを通して導かれ受洗。神学校への献身も考えたが、結局は忠実な信徒として教会を支えるキリスト者になる召命を強く覚えたといつことである。

大学卒業後、東神大の図書館を経て、YWCAに勤務、ここで一教会・一教団の枠を越えた広い視野を与えられ、途上国でぜひ働きたいという思いが与えられた。そして、青年海外協力隊に参加、1990年から約2年間バンガラデシュにおいて活動し、このときベンガル語の訓練も受けた。金澤さんによれば、

これも神様の導きであった。帰国後、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンに勤務、阪神淡路大震災の援助活動に従事する中で、関西在住の盲伝の理事の方と出会う。この方が、バンガラデシュの視覚障害女性の生活自立センターに関わつておられ、1993年その開所式の通訳をしたことから、盲伝と関わることになったのである。

その後結婚、夫の学業を支えるためポーランドで青年海外協力隊の調整員として働き、さらに自身の研鑽のためにアメリカに行き、大学院で非営利組織のマネージメントについて学ぶ。

奇しき出来事、乳癌が見続く。

今この課題の一つは、中途失明の方々への伝道である。さまざまな宗教から勧誘を受けた結果、宗教に不信感を抱く方々とう人格的な出会いをもち、キリストの福音へと導くか模索は続く。

第36総会期 第2回年金局理事会

第36総会期第2回年金局理事会が開催された。

6月18日(木)19日(金)開催された年金局理事会で、2008年度年金局事業報告ならびに決算に関する件、2009年度年金局財務計画額補正に関する件、および2010年度年金局財務計画額に関する件を審議し、承認した。この2案は第36総会期第2回常議員会に議案として提出することとなった。

2010年度の謝恩日献金の計画額は2007年度、2008年度、2009年度同様1億1千万円を計上した。

2008年度の謝恩日献金の実績が目標値の41%にとどまつたことについて各教区の状況の報告がなされた。その上で2009年度の謝恩日献金の実現については、「各教区はそれぞれの事情に

じた対応しい方法で努力することとし、その時の献金目標値は、教区の負担金の賦課率によることを再確認し、目標値に近づけるための方策を協議した。そして各教区代表理事が教区目標達成のためにそれぞれ努力している状況を報告し、情報を共有した。これは今後方策を練る上にも、お互い大変参考になる話し合いとなった。高橋豊理事長は「謝恩日献金」の実現に向けて、各教区代表が苦心努力していることに謝意を表した。また、「謝恩日献金」は教会として、そして教区として取り組んでほしいので、教区三役、常置委員に積極的に働きかけ、十分な理解を得て、実現のために努力してほしいと述べ、出席者は認識を新たにされた。

また7月の第2回常議員会の議案審議の中でも年金局からこの旨を訴えることとした。

(櫻井淳子報)